



市川市教育振興基本計画

～次のような目標を掲げています～

- 子どもの姿** 自分や他人を大切に、社会の中でたくましく生きていくことのできる子どもを育てる
- 家庭・学校・地域の姿** 自らの役割と責任を担いながら、たがいに連携して教育の向上に取り組む家庭・学校・地域を実現する
- 市川の教育の姿** 教育環境の整備を図り、質の高い市川の教育を推進する

■発行
市川市教育委員会
〒272-0023
市川市南八幡1-17-15
TEL 334-1111

■企画編集
市川市教育センター
〒272-0015
市川市鬼高1-1-4
TEL 320-3335

市川の小学校外国語教育 世界中の人と友達になりたいな!

◆宮久保小・下貝塚中 外国語連携授業◆



10月12日(金)、宮久保小学校で6年生を対象に、下貝塚中学校の先生による外国語科の授業が行われました。下貝塚中学校と宮久保小学校は、今までも算数などの学習面で交流活動を行っています。

今回は「インタビューをしてわかったことを仲間に伝えよう!」というテーマで、友達の好きな色や食べ物を聞き、それをグループで共有するという学習です。宮久保小学校の先生による日本語での補足説明も時々ありましたが、授業はすべて英語で行われ、ゲームを取り入れたり、アニメやお菓子の話が出てきたりとテンポよく進みました。先生が話す英語を、児童は一生懸命聞いて内容を理解しようと頑張り、先生が質問すると、口々に答えを言ったり手を挙げたりと、どの子も学習に対して積極的です。

小学校の先生方からは、「今日のような授業を行うことで、子供たちが外国語の楽しさを知り、中学校の英語の授業の雰囲気を感じてもらえたらうれしいです。」と話がありました。

授業が終わった後、児童は「楽しかった。」「外国語は苦手だけど、今日は自分から話せた。」と笑顔で話していました。「中学校に進学するのが楽しみです。」と目を輝かせる児童もたくさんおり、来年4月からの新生活への希望を膨らませる良い機会となりました。【教育センター】



◆Let's enjoy English!!◆

市川市ではグローバルな人材育成の一助として、「生きた英語」「使える英語」を学べるように、日本語と英語の会話能力に長けた外国語活動指導員(以下指導員)や、英語を母語とする外国人指導助手(以下ALT)を市独自で採用し、小中学校等の外国語教育充実に取り組んでいます。

平成32年度から全面実施となる次期学習指導要領においては、外国語教育の内容が大きく変わります。本市では、今年度より

3・4年生の「外国語活動」の授業で、週1時間、担任と指導員またはALTとのチームティーチングを行い、聞くことや話すことを中心に外国語の音声に慣れ親しむことを大切にしています。また、5・6年生の「外国語科」では、週2時間の授業のうち、1時間をチームティーチングで行い、3・4年生の学習に加え、段階的に、文字を読んだり書いたりしながら、中学校での外国語の学習につなげていくことを目指しています。

今後も子供たちのために、指導員やALTの人材活用を積極的に行い、「生きた英語」に触れる機会を増やしてまいります。併せて子供たちの英語力を高めるために、研修等で教職員の指導力の向上も図ってまいります。Let's enjoy English together!!【指導課】

幼稚園の取り組み

公開研究会

百合台幼稚園

市川市立の幼稚園では、よりよい保育を目指して、各園ごとにテーマを設定し、研究を重ねています。10月17日(水)、百合台幼稚園で、市川市公立幼稚園教育研究会指定の公開研究会が行われました。百合台幼稚園では、今年度「友達のよさ」や「かかわって遊ぶ楽しさ」に焦点を当てて、さまざまな工夫をしています。



この日は、年少組は「折り返しリレー」、年長組は「3チームに分かれた鬼遊び」で遊び、園児の明るい声が遊戯室や園庭に響きました。園児は遊びを通して、友達と力を合わせることや、ルールを理解する大切さを学びます。遊びに熱中しながらも、友達を応援したり助けたりと、優しさと思いやりの心がしっかりと育っています。園内は、マークや色を効果的に活用して環境が整備されており、園児の主体的な動きが引き出されていました。

園児が降園した後は今までの保育実践の報告が行われ、その後、数人のグループに分かれて、テーマに沿った内容での協議が活発に行われました。

信篤幼稚園

交通安全教室

10月16日(火)、信篤幼稚園で交通安全教室が実施されました。5歳児は、千葉県警察の方と一緒に横断歩道を渡る練習をし、4歳児は、市川市交通計画課職員による劇を見ながら、交通安全についての理解を深めます。劇中で赤信号で道路を渡ろうとする主人公に、「渡っちゃダメ!」と元気な声で教えてあげる場面もありました。横断歩道を渡る練習をした園児ははじけるような笑顔で「今日はいつもより上手にできた。」と話し、みんなで「飛び出しはしません」「止まる・見る・待つ」などの合言葉を声を合わせて言いながら、交通ルールを確認できました。【教育センター】



感動!個性あふれる作品展 市川市こども作品展・新聞展

11月1日(木)~4日(日)、市川市文化会館で「市川市こども作品展・新聞展」が開催されました。この展示会は、市立幼稚園、小・中・義務教育学校・特別支援学校に通う子供たちの学習成果を発表する場として、昭和25年から始まり、今年度で69回目を迎える歴史ある作品展です。今年、6園、55校の園児、児童、生徒が作りあげた作品の中で、各学校から選ばれた約2,500点の図工・美術、技術、家庭、書写の作品、学校新聞コンクールの優秀作品が文化会館の展示室や大会議室に所狭しと並べられました。



有名人の特徴を見事にとらえたペーパークラフトや東京オリンピックに向けてデザインした切手の図案、細部まで磨かれた木工作品、フェルトを縫って作ったクラス全員の家庭科共同作品等、力作が勢ぞろいしました。

毎年楽しみに来場される市民の方からは「子供たちの素晴らしい作品に感動した。」「アイデアに見入ってしまった。」「中学生の技術の高さには驚いた。」との感想が寄せられ、出品した子供たちからも「嬉しかった。また作りたい。」「他の学校の作品が参考になる。」との意欲的な声が上がっています。【指導課】



新教育次長紹介 松丸 多一 氏



8月1日(水)、市川市教育委員会教育次長に、松丸多一(まつまるたいち)氏が就任しました。

松丸教育次長からのメッセージです。

【教育センター】

このたび、教育次長に着任いたしました松丸多一です。

新たな教育委員会制度がスタートして既に3年が経過しましたが、この制度においては、教育の政治的中立性、継続性、安定性を確保しつつ、地方教育行政における責任の明確化、迅速な危機管理体制の構築、市長との連携強化が求められています。

私はこれまで、市川市の職員として、市の訴訟、法律相談に係る事務や、許可・認可などの事務に関する指導・助言のほか、地震や台風などによる被害の発生に備えた安全対策や関係部署との総合調整などに、組織の垣根を越えて取り組んできました。

教育を取り巻く環境は大きく変化していますが、これまでの経験を生かして、学校の安全確保をはじめとする信頼される学校づくりと、学校と地域との連携・協働による活力あるコミュニティの形成、その中で子供たち一人一人が夢や希望に向かって努力し続ける、知・徳・体のバランスのとれた成長を支援できるよう取り組んでまいりたいと考えております。

教育委員交流会

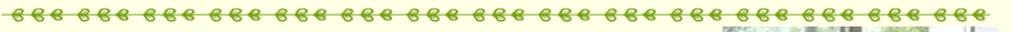
教育委員会では、教育委員が学校の現状、児童生徒の実態、保護者や教職員の意向を把握し、市川の教育政策等に反映させていくために、児童生徒や教職員との交流会を行っています。今年度は9月から2月にかけて12校で実施しています。

【教育センター】



市川小 9/5

市川小学校の「計画委員会」の活動を、松丸教育次長と大高委員が参観しました。キャンペーンとして行う「あいさつ運動」の話し合いで、「一人一人が課題を解決するにはどうしたらよいか考え、前向きに話し合う姿に、とても感心しました。」との感想がありました。



山元委員、平田信江委員と、部活動の部長との意見交流会が行われました。

下貝塚中 9/13

部長は各部活動の目標や、部長として頑張っていることなどを報告し、二人の委員は「先生や部員に期待されているのですね。頑張ってください。」とエールを送っていました。



大町小 9/27

英語学習「日光プロジェクト!」の授業を、山元委員、平田信江委員が参観しました。6年生は修学旅行先の日光で、外国人にインタビューするそうです。外国人役の委員に児童が英語で質問し、二人は笑顔で答えていました。委員は「温かいクラスですね。」と感想を伝えました。



田中教育長と平田信江委員が妙典小学校を訪問し、6年生のダンス教室を参観しました。「全員がリズムに乗り、のびのびと踊っている姿に感心しました。」との感想がありました。参観後は、6年生の教室で一緒に給食を食べ、学校生活等についての会話に花が咲いていました。

妙典小 10/11



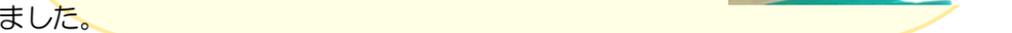
南行徳小 10/18

平田信江委員、島田委員が「ドレミファ集会」(音楽集会)の合唱と合奏を参観しました。二人の委員は「心のこもった合唱でした。たくさん練習をしたのでしょうね。」と、児童に感想を伝えました。10月20日(土)には、保護者や地域の方に歌と演奏を披露したそうです。



5年4組の体育の授業を、田中教育長と平田史郎委員が参観しました。その後、若年層教員研修会では、活発な意見交換がなされました。田中教育長と平田委員からは、「授業の準備がきちんとできていました。児童が楽しんで運動に取り組み、主体的に学び合い、教え合う姿がありました。」との講評がありました。

鬼高小 10/25



地域での活躍を担う青少年リーダー育成を目的としている「ジュニアリーダー講習会」は、中学生を対象としてグループワーク・野外活動を中心に、リーダーシップ力を向上させる中級講座です。

ボランティアの指導のもと、高校生はリーダーとして班を牽引し、中学生は班内で役割を分担して、野外炊事やグループワークといった活動を行います。

今回の野外炊事では例年通りのカレーライスではなく、決められた食材から自分たちでメニューを考え調理するクッキングコンテストを行い、楽しみながらも色々なアイデアを出し合い、班ごとに1つの料理を作りあげました。こういった活動を通して、様々な成功や失敗の体験をしたことで、一回り大きく成長することができました。今回の体験が、これからの様々な活動に生かされていくと思います。

【青少年育成課】

8月7日(火)~9日(木)に市川市少年自然の家にて、高校生対象の「ヤングカルチャースクール」の受講生と共に2泊3日の合同トレーニングキャンプを開催しました。このキャンプは、講師・大学生



塩浜学園 校舎が新しくなります

平成27年に小中一貫校として開校し、平成28年に千葉県内初の義務教育学校となった塩浜学園は、今まで前期課程(小学校)と後期課程(中学校)で使用する校舎が分かれていましたが、この度、全課程が入る校舎に建て替えられることになりました。

塩浜学園は、学校全体がアットホームな雰囲気、児童生徒が楽しく和気あいあいと過ごしています。義務教育9年間で4年-3年-2年に区切り、小学校1年生からチームティーチングを行い、5年生からは一部教科で教科担任制を導入するなど、個に応じた「わかる授業」を実施しています。さらに、5年生から後期課程(中学校)の部活動に参加することもできます。また、全学年で独自教科「塩浜ふるさと防災科」を設けており、地域を愛し思いやりのある豊かな心と、災害発生時等に自ら考え行動する力を育成しています。

通学区域は他の学校よりも広域で、指定学校の変更可能な範囲は行徳支所管内となっています。

新校舎完成は、平成32年度内の予定です。【教育センター】



式典の様子

地域のリーダーとして がんばります!

ジュニアリーダー講習会・
ヤングカルチャースクール
合同トレーニングキャンプ

平成30年度 全国学力・学習状況調査 市川市の結果

全国学力・学習状況調査が、全国の小学校6年生と中学校3年生を対象として4月17日(火)に実施されました。

国語AとB、算数・数学AとB、3年振りの調査となる理科の正答率をそれぞれ全国と比較すると、市川市の児童生徒は概ね同等となっています(表1)。

知識に関する問題では、漢字の読みや文学的な文章の理解、角の大きさや割合、実験器具の取扱いなどの基本的知識・技能が定着して

いる様子が見られました。一方、活用に関する問題では、「目的に応じて説明する」ことや「複数の情報を結びつけて説明する」ことに引き続き課題があります。小6の理科では、実験結果と考察が正対しない誤答が目立ちました。

質問紙調査では、市川市の児童生徒は「ニュースを見ている」とする回答が例年多く、社会への関心の高さがうかがえます。反面「理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う」という質問に対しては、肯定的な

回答が少なく、理科の有用性が十分に理解されていない状況が見られます。

本市の課題の1つである「自分にはよいところがあると思う」という回答を経年で見ると、少しずつ上昇していますが、今後も児童

生徒に寄り添った指導を継続するなどし、自己肯定感を育ててまいります。【指導課】

小6	市川市	千葉県	全国
国語A	70	70	70.7
国語B	55	53	54.7
算数A	64	62	63.5
算数B	53	51	51.5
理科	61	61	60.3

中3	市川市	千葉県	全国
国語A	77	76	76.1
国語B	62	61	61.2
数学A	66	64	66.1
数学B	48	46	46.9
理科	66	65	66.1

(表1) 教科区分別調査結果(平均正答率%)
A: 主として知識に関する問題
B: 主として活用に関する問題

磨け！自然への探究心

9月8日(土)、9日(日)、市川市児童生徒科学展が、今年も千葉県立現代産業科学館で開催され、二日間で3,600名を超える方々にご来場いただきました。

どの作品からも、子供たちが楽しみながら工夫した様子や、自然に対する深い愛情などが感じられます。

各学校から選ばれた作品は、科学論文341点、標本77点、科学工夫作品138点、計556点にのぼり、そのうち60点が見事入賞し、32点が県科学展に出品されました。県科学展は、10月13日(土)、14日(日)に千葉県総合教育センターで行われ、市内から6点が入賞し、そのうち2つの作品が全国展に出品されるなど、すばらしい成績を収めています。

今年9月に国際科学オリンピック(情報)が茨城県つくば市で開催され、日本代表4人全員がメダルを獲得しました。国際科学オリンピックとは世界中の中高生を対象にした科学技術に関する国際コンテストで、情報の他に、数学・物理・化学・生物・地学・地理の計7分野で実施されています。今後日本では、2020年に生物、2021年に化学、2022年に物理、2023年に数学の国際科学オリンピックが開催される予定です。



今回作品を出品した皆さんの中からも、メダリストが誕生するかもしれません。自然を探究する心に一層磨きをかけ、今後も豊かな発想で挑戦し続けてくれることを期待しています。【指導課】

2020オリンピック・パラリンピックに向けて

千葉県教育委員会では、オリンピック・パラリンピックを活用した教育を進めています。今年度、菅野小学校・妙典中学校の2校が、オリンピック・パラリンピック教育推進校として、様々な教育活動に取り組んでいます。

妙典中学校では、10月5日(金)2年生を対象に「あすチャレ!スクール」を開催しました。講師は、パラリンピック7大会に出場した永尾嘉章(ながお よしゆみ)さんです。自身の体験をふまえた「諦めない事・一生懸命やり続ける事が大切」という言葉に、生徒たちは真剣に耳を傾けていました。競技用車いすで走る姿を見せていただいたり、車いすを使っ



てリレーをしたりと、体育館に声援と歓声が響き渡っていました。菅野小学校では、10月12日(金)リオデジャネイロオリンピックでウエイトリフティング62kg級第4位となった糸数陽一(いとかず よういち)さんをお招きしました。はじめは、4・5・6年生への講演です。少年時代の話や競技との出会い、オリンピックでの経験など、どれも興味深いお話でした。続いて6年生は、ウエイトリフティングの体験も行いました。実際に体験してみることで、糸数さんのすごさを実感したようです。

こうした、オリンピック・パラリンピックを活用した教育の取組は、子供たちの興味・関心や可能性を広げる貴重な体験となっています。【保健体育課】

発見 体験 昔のくらし 昭和のくらしにタイムスリップ!



市川歴史博物館では、小学校3年生社会科「古い道具と昔のくらし」の学習内容に即した企画展「発見・体験 昔のくらし」を開催し、毎年たくさんのお子さんたちにご来館いただいています。昔の着物を羽織ってみたり、道具に触れて

みたりと、楽しみながら学べる展示となっていますので、ぜひ一度ご覧いただければと思います。また、毎週土曜日・日曜日には、昔遊びなどの催しも実施していますので、あわせてお楽しみください。昔のあそびの詳細は、歴史博物館WEBページをご確認ください。



企画展

「発見・体験 昔のくらし」
期間 開催中～2月17日(日)
時間 午前9時～午後4時30分
休館日 月曜日
(祝日の場合は、火曜日)
年末年始(12/28～1/4)

入館無料
場所 市川歴史博物館
(堀之内2-27-1)
【考古博物館】

れきはクイズ

これな～んだ?

ヒント①ぐるぐる回して使うよ。
ヒント②中に水やお湯を入れて使っていたよ。
ヒント③一度にたくさんはできないけれど、手仕事にくらべると、便利に感じる道具だったのだろうね。
答えは、市川歴史博物館で実際にさわって確かめよう!

自然を体験! キャンプ

★わんぱくセミナー「わんぱく冒険キャンプ」★

「わんぱくセミナー」は、小学校5・6年生を対象とし、遊びや野外活動を中心に集団行動や集団生活の基本を学ぶ初級講座です。



8月24日(金)～26日(日)にいちかわ市民キャンプ場にて、「わんぱく冒険キャンプ」(1泊2日、2回実施)を開催しました。

野外炊事では自分の役割を決め、仲間と声を掛け合い、協力しながら、カレーやカートンドッグを作りました。そして、燃え盛る火の前にみんなで輪になり、楽しく歌って踊ったキャンプファイヤーの後はテント泊です。家とは違い、電灯がなく真っ暗の中、仲間と一緒に夜を過ごしました。



このキャンプを通じて、子供たちは少したくましくなったように感じます。自然の中で、みんなと頑張ったことや楽しかったことが、夏休みの思い出として、心に残ったと思います。

【青少年育成課】

学習支援クラブ

地域と学校が一体となって子供たちの学びの充実を目指す「学習支援クラブ」。今回は、5年生の総合的な学習の時間に「稲作体験」を行っている大洲小学校の取組をご紹介します。

同校では、校庭の一角にある田んぼを使い、「田植え」から「稲刈り」「脱穀」までを体験しています。専門的な知識や技術を必要とする作業には、地域ボランティアの方の協力が不可欠です。地域ボランティアの方は、体験時だけでなく、水の管理のお手伝いなど、日常的に支援してくださっています。

9月の「稲刈り」では、かまの使い方を教えてもらった子供たちが、生き生きと活動していました。子供たちからは、「かまを持った時に、すごくドキドキしました。」「地域ボランティアさんに手伝っていただいて、なんとか刈れました。」「お米を育てることはこんなに大変なんだなと感じました。」などの感想があがりました。



【指導課】

大洲小学校だけでなく、市内の多くの学校で地域の方々から様々な支援をいただいております。学習支援クラブは、地域の方と共に子供たちの豊かな心を育む魅力的な授業づくりを支援しています。

家庭教育学級

指導員
派遣講座

家庭教育学級では、各学級からの依頼を受けて、家庭教育指導員による指導員派遣講座を行っています。

今回は、9月21日(金)に下貝塚中学校で行われた「プチ反抗期における子供の接し方・叱り方」をテーマにした講座の様子を紹介いたします。前半は、3~4人のグループを作って「座談会プログラム」を行いました。テーマに合わせて作成した質問シートをもとに他の参加者に聞いてみたいことをお互いに話しながらコミュニケーションを深め、後半は、反抗期の子供の接し方・



叱り方や自己肯定感の育成についてなど指導員が講演を行いました。具体的な事例も交えながらのお話には、参加者からは「色々な話ができて楽しい時間だった。」「他の方と同じような悩みを共有できてよかった。」「実践できそうなことが多く、勉強になった。」などの感想があがり、大変好評でした。

この講座では、各学級の要望に応じて様々なテーマでの講演や参加者同士がコミュニケーションを深められるプログラムを用意しています。講座の予定はホームページで確認できます。参加希望の方は所属校または学校地域連携推進課へお問い合わせください。【学校地域連携推進課】

★市内公立学校の講師一斉募集★

市川市教育委員会では、平成31年度に市内の公立学校に勤務できる講師の一斉登録を行います。

- 日時
 - 平成30年12月8日(土) 午前10時~午後3時 市川市教育委員会会議室
 - 平成30年12月9日(日) 午前10時~午後3時 市川市教育委員会会議室
 - 平成31年1月12日(土) 午前10時~午後2時 教育センター3F第2研修室
- 募集職種
 - 県費講師…臨時的任用講師・非常勤講師 (教員・養護教諭・学校栄養職員・事務職員)
 - 市費職員…少人数学習等担当補助教員、特別支援学級等担当補助教員
- 応募方法

※義務教育課・教職員班へ電話でご連絡ください。
TEL 383-9261
- 持物
 - 履歴書
 - 教員免許状の写し(取得見込証明書)
 - 免許更新が済んでいる方は、その証明書の写し

※教員免許状のない方も補助職員として学校現場に入っております。
- その他

※この一斉登録は、登録のみ行うものであり必ずしも採用されるものではありません。
※上記日程で都合のつかない方もお電話にてご相談ください。
※教員免許がない方、または来年度も学生で、学校現場での経験を積みたい方もご登録ください。
※教員免許の期限が切れてしまっている方で、今後講師をご希望の方は、手続きをご案内しますので、お問い合わせください。【義務教育課】



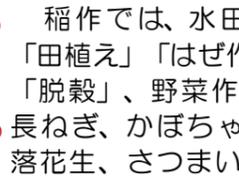
収穫の秋

夏の暑さ・台風を乗り越えて育ったよ!



田植え

農業・稲作体験活動は、稲作や野菜作りを通じて、自然や人とのふれあい、勤労と収穫の喜びを体験し、心豊かな子供たちを育てることを目的としています。農業・教員経験者等で構成されている「市川米っ人くらぶ」に業務を委託し、平成13年から小川再生親子ふれあい農園内で行われている事業です。



稲刈り

稲作では、水田にて「代掻き」「田植え」「はぜ作り」「稲刈り」「脱穀」、野菜作りでは小松菜、長ねぎ、かぼちゃ、じゃがいも、落花生、さつまいも等の作物を、植え付けから収穫まで年15回程度実施しています。さらに、農園内の環境や生態系を学ぶため、「昆虫教室」等の野外学習を作業前に実施する活動日もあります。



小松菜収穫

参加した子供や保護者の感想文には、農業・稲作体験を通じた自然とのふれあいや、作物への感謝の気持ち、収穫までにかかわった多くの方々への感謝の気持ちなどが綴られています。また、教科書を読むだけでは学習できないことを親子で学ばせてもらったという声も寄せられています。

【青少年育成課】

ダメ!セッター! 薬物乱用防止キャンペーン

10月8日(月・祝)と10日(水)の二日間、薬物乱用防止キャンペーンが行われました。毎年、このキャンペーンでは、薬物の怖さを広く伝えていきます。

中学生や少年補導員のボランティアがパンフレット等を配り、薬物乱用防止を呼びかけました。8日には妙典中学校の吹奏楽部による演奏も行われ、活気あふれるキャンペーンとなりました。



【教育センター】

子供にかかわる相談はここでできます!

◆教育相談(教育センター)

予約TEL 320-3336 火~土(午前9時~午後5時)
対象: 3歳~中学校3年生
子育てや発達、教育についての悩みに関して、専門的知識を持つ教育相談員が面接相談をしています。



◆ほっとホット訪問相談(教育センター)

TEL 320-3362 火~金(午後0時30分~午後5時)
対象: 小学校1年生~中学校3年生
不登校や子育てについての相談を電話でお受けしています。自宅等に出向いてお話を伺うこともできます。

◆少年相談(少年センター)

TEL 320-3340 月~金
(午前9時~午後5時※木は午後7時)

メールアドレス youngnet@city.ichikawa.lg.jp
対象: 小学校1年生~20歳未満
家庭生活、交友や健康など様々な悩みの相談(電話、メール相談あり)を受け付けています。本人からの相談も可能です。【教育センター】